

別紙 変更事項の内容

計画本体

3 構造改革特別区域の範囲

変更前	変更後
長野県木曾郡木曾町、上松町、木祖村及び王滝村の全域	長野県木曾郡木曾町、上松町、 <u>南木曾町</u> 、木祖村及び王滝村の全域

5 構造改革特別区域計画の意義

変更前	変更後
(中略) 規制緩和による特区を活用した濁酒の製造・提供という付加価値を加えることで、地元の <u>農産物</u> の活用による郷土料理や質の高いサービスの提供により、今まで取り込めなかった観光客の誘客やリピーターの確保が図れるなど、流入人口の増加に繋がり、観光消費額の増加や、衰退傾向にある観光関連産業の活性化が期待されるなど、地域経済への波及効果が期待される。 (以下略)	(中略) 規制緩和による特区を活用した濁酒の製造・提供という付加価値を加えることで、地元の <u>農林水産物</u> の活用による郷土料理や質の高いサービスの提供により、 <u>木曾地域固有の自然、宿場景観、温泉など地域資源の有効活用がより一層図られ</u> 、今まで取り込めなかった観光客の誘客やリピーターの確保が図れるなど、流入人口、 <u>交流人口</u> の増加に繋がり、観光消費額の増加や、衰退傾向にある観光関連産業の活性化が期待されるなど、地域経済への波及効果が期待される。 (以下略)

6 構造改革特別区域計画の目標

変更前	変更後
(中略) 余暇時間の増大や、 <u>自然志向</u> の高まりに伴う体験型農業の推進、観光と農業の連携によるグリーンツーリズムの推進により、観光客の増加による地域の活性化を目指す。 民宿等においては濁酒の提供に併せて、地元で取れる旬の農林水産物等を生かした料理を提供することで、地産地消や関連産業との連携を図る。また、地域内のイベント等とタイアップすることにより、地域の歴史・文化・風俗に触れる機会を拡充し、滞在型観光への転換を図り、新たな顧客やリピーターを獲得し、宿泊者の増加に繋げてい	(中略) 余暇時間の増大や、 <u>自然・健康志向</u> の高まりに伴う体験型農業の推進、観光と農業の連携によるグリーンツーリズムの推進により、観光客の増加による地域の活性化を目指す。 民宿等においては濁酒の提供に併せて、地元で取れる旬の農林水産物等を生かした料理を提供することで、地産地消や関連産業との連携を図る。また、地域内のイベント等とタイアップすることにより、地域の歴史・文化・風俗に触れる機会を拡充し、滞在型観光への転換を図ると共に、 <u>近年妻籠宿を中心に増加しているアジアからの旅行者</u>

<p>く。</p> <p>このように観光と農業の連携した経営の促進を図り、特区を活用したグリーンツーリズムを推進することで、流入人口の増加に努め、低落する地域経済の活性化を図るとともに、観光地「木曾」の復活を目指している。</p>	<p>や中山道のウォーキング客など、新たな顧客やリピーターを獲得し、宿泊者の増加に繋げていく。</p> <p>このように観光と農業の連携した経営の促進を図り、特区を活用したグリーンツーリズムを推進することで、<u>国内外からの流入人口の増加に努め</u>、低落する地域経済の活性化を図るとともに、観光地「木曾」の復活を目指している。</p>
---	--

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

変更前	変更後
<p>表2で示すように、平成16年度と平成17年度の目的別観光客数を比較すると、総数では25.8%減少しているものの、グリーンツーリズムの取り組みや、多様化するニーズを反映し、山岳・高原を目的とする観光客数は、かつて観光目的の第1位であった温泉・名所を逆転し、減少率も12.7%（対前年比）にとどまっている。そこでこの特区を活用して、濁酒の製造・提供を行うことにより、<u>新たな旅の楽しみを提供するとともに、木曾地域の豊かな自然に触れることでリピーターの増加が見込まれ</u>、その結果、観光客の増加による地域の活性化が期待できる。</p> <p>また、この地域活性化対策により、これまでグリーンツーリズム事業に関心のなかった民宿・ペンション等の宿泊事業者が新たにグリーンツーリズム事業に参入することも期待でき、<u>初年度は4件で始まる予定の濁酒製造宿泊事業者も5年後には10件程度になることが期待される。</u></p>	<p>表2で示すように、平成16年度と平成17年度の目的別観光客数を比較すると、総数では25.8%減少しているものの、グリーンツーリズムの取り組みや、多様化するニーズを反映し、山岳・高原を目的とする観光客数は、かつて観光目的の第1位であった温泉・名所を逆転し、減少率も12.7%（対前年比）にとどまっている。<u>また、表4及び表5で示すように減少する観光客の中でインバウンド、とりわけアジアから訪れる観光客は江戸時代の宿場風情を醸し出す妻籠宿に代表される南木曾町や木曾町を中心に2年間で3倍強と増加している。</u>そこでこの特区を活用して、濁酒の製造・提供を行うことにより、<u>新たな旅の楽しみを提供するとともに、木曾地域固有の地域資源をより一層効果的に活用することが可能となり、新たな顧客やリピーターの増加が見込まれ</u>、その結果、観光客の増加による地域の活性化が期待できる。</p> <p>また、この地域活性化対策により、これまでグリーンツーリズム事業に関心のなかった民宿・ペンション等の宿泊事業者が新たにグリーンツーリズム事業に参入すること、<u>地域と地域の連携による広域的な周遊観光等も期待でき</u>、表6で示すように平成19年度は8件で始まる予定の濁酒製造宿泊事業者も平成22年度には<u>15件程度になることが期待される。</u></p>

表2 目的別観光客数

(単位：千人)

目的	平成 16 年度実績	平成 17 年度実績	平成 19 年度目標	平成 22 年度目標
スキー	422	363	365	370
山岳 ・高原	1,719	1,502	<u>1,505</u>	<u>1,550</u>
温泉 ・名所	2,380	1,487	<u>1,490</u>	<u>1,530</u>
観光客 総数	4,521	3,352	<u>3,360</u>	<u>3,450</u>

表3 日帰り・宿泊客数

地域の魅力が向上することで観光客の増加が期待できる。

(単位：千人)

目的	平成 16 年度実績	平成 17 年度実績	平成 19 年度目標	平成 22 年度目標
日帰り 客数	3,773	2,656	2,660	2,700
宿泊 客数	748	696	<u>700</u>	<u>750</u>
観光客 総数	4,521	3,352	<u>3,360</u>	<u>3,450</u>

表2 目的別観光客数

(単位：千人)

年度 目的	平成 16 年度実績	平成 17 年度実績	平成 19 年度目標	平成 22 年度目標
スキー	422	363	365	370
山岳 ・高原	1,719	1,502	<u>1,507</u>	<u>1,556</u>
温泉 ・名所	2,380	1,487	<u>1,494</u>	<u>1,536</u>
観光客 総数	4,521	3,352	<u>3,366</u>	<u>3,462</u>

表3 日帰り・宿泊客数

地域の魅力が向上することで観光客の増加が期待できる。

(単位：千人)

年度 目的	平成 16 年度実績	平成 17 年度実績	平成 19 年度目標	平成 22 年度目標
日帰り 客数	3,773	2,656	2,660	2,700
宿泊客数	748	696	<u>706</u>	<u>762</u>
観光客 総数	4,521	3,352	<u>3,366</u>	<u>3,462</u>

表4 外国人宿泊者数

(単位：人)

年度 町村名	平成 15 年度実績	平成 17 年度実績	平成 19 年度目標	平成 22 年度目標
木曽町	144	2,184	2,900	5,800
上松町	45	38	70	100
南木曽町	1,001	1,698	3,000	6,000
木祖村		12	30	100
計	1,190	3,932	6,000	12,000

表5 国別宿泊者数

(単位：人)

年度 国名	平成 15 年度実績	平成 17 年度実績	平成 19 年度目標	平成 22 年度目標
台湾	58	2,747	4,250	8,500
韓国	78	88	200	400
香港	8	14	50	200
中国		49	200	800
イギリス	121	114	150	300
フランス	82	75	100	200
ドイツ	145	107	150	300
オランダ	181	202	250	400
アメリカ	288	166	250	400
その他	229	370	400	500
計	1,190	3,932	6,000	12,000

<p>表4 新規事業件数 自家製による酒類製造業の起業が期待できる。 (単位：件)</p>				<p>表6 新規事業件数 自家製による酒類製造業の起業が期待できる。 (単位：件)</p>		
年度 施設名	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 22 年度	年度 施設名	平成 19 年度	平成 22 年度
濁酒製造 宿泊施設	4	<u>7</u>	<u>10</u>	濁酒製造 宿泊施設	<u>8</u>	<u>15</u>

別紙

4 特定事業の内容

(2) 事業が行われる区域

変更前	変更後
長野県木曽郡木曽町、上松町、木祖村及び王滝村の全域	長野県木曽郡木曽町、上松町、 <u>南木曽町</u> 、木祖村及び王滝村の全域